

千葉県私立高等学校生徒奨学金返還金に係る収納業務委託 企画提案募集要項

1 委託業務の名称

千葉県私立高等学校生徒奨学金返還金に係る収納業務委託

2 業務の概要

別添「千葉私立高等学校学校生徒奨学金返還金に係る収納業務委託仕様書」のとおり

3 応募資格

次に掲げる要件を全て満たす者とする。

- (1) 債権管理回収業に関する特別措置法（平成10年法律第126号。以下「サービサー法」という。）第3条の規定による法務大臣の許可を受けた債権管理回収業者、弁護士法（昭和24年法律第205号）第4条に規定する弁護士又は同法第30条の2に規定する弁護士法人のいずれかであること。
- (2) 債権管理回収業者にあつては、サービサー法第23条の規定による改善命令を受けていないこと。
- (3) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。

4 スケジュール

- (1) 応募書類提出の締め切り 令和2年4月21日（火曜日）
- (2) 応募受託候補者の決定 令和2年4月下旬

5 応募手続

(1) 企画提案書等の提出

応募に至っては以下の書類を提出する。

ア 提出書類及び提出部数

(ア) 企画提案応募提出書 1部

(イ) 許可証等の写し 1部

債権管理回収業者の場合は、サービサー法第3条に規定する法務大臣の許可証の写し。弁護士又は弁護士法人の場合は、その事実が分かる書類。

(ウ) 企画提案書 3部

企画提案書の仕様は以下のとおりとする。

(a) 原則としてA4サイズ縦で10頁以内（表紙を除く）とする。

(b) 記載項目

以下の全項目について、それぞれ示すこと。

① 業務実施の考え方

- ・対応が不誠実な者に対してどのように回収業務を実施するのか。
また、長期住所不明で現在まで督促が出来なかった債務者について、所在等調査を行ったうえで住所が判明した時点からの請求はどのように実施するのか（不誠実な者との公平性に配慮できるか）。
- ・生活困窮者等に対して、生活に支障が生じないようどのように配慮するのか。

② 業務処理方法

- ・催告を実施する方法（電話、文書、訪問等）とその実施頻度はどうか。
- ・電話や訪問について、土・日・祝日や夜間にも実施するのか。その場合、実施基準と頻度はどうか。
- ・行方不明者、連絡先不明者の所在等調査はどのように実施するのか。
また、本委託と類似の委託を受け、この調査で想定される手法を用いて調査を実施した場合、その判明した割合はどうであったか。
- ・訪問徴収を行うタイミングはいつ、どのように行うのか（マニュアル等はあるか）。また、本委託と類似の委託を受け、訪問徴収で想定される手法を用いて実施した場合、成功の割合はどうであったか。
- ・債務者から返還金を受領する方法（現金回収、銀行振込、コンビニ収納等）はどうか。
- ・債権回収の手法について、ノウハウを生かした独自の提案があるか。
- ・債務者からの相談、問合せ、苦情等へ対応するため相談窓口を設置しているか。その場合、対応人数、曜日や時間帯はどうか。
- ・相談窓口での主な相談・苦情の内容と、苦情があった場合の処理フローはどうか。

③ 業務実施体制

- ・債権回収のための千葉県・全国の拠点の状況、対応にあたる組織と人員の状況等はどうか。
- ・担当者の業務進捗管理及び担当者に対するサポート体制はどうか。
- ・指揮命令系統はどうか。また、協会との円滑な連絡調整のための体制はどうか。
- ・個人情報保護のための取り組みとしてどのようなことを行っているか（認証を受けている等）。
- ・法令遵守のための取り組みとしてどのようなことを行っているか（マニュアルの整備、内部管理体制の構築、教育・訓練、内部監査等のチェック機能等）。

④ 職員の専門性

- ・対応する職員の経験年数、研修の受講履歴、回収実績等はどうか。
- ・業務水準の向上及び均質化を図るための研修、勉強会等の実施状況はどうか。

⑤ 経済性

- ・成功報酬率はどうか（なお、30%を超える場合は失格とする）。

⑥ 業務受託実績

- ・過去に国や地方公共団体等から同様の業務を受託した実績があるか。その場合、実施時期、内容、取扱件数、回収実績はどうか。

⑦ その他

- ・セールスポイント等、特に記載したい事項

(c) その他留意事項

- ① 提出された企画提案書は、返還しない。
- ② 提出された企画提案書は、協会外部へは公表しない。
- ③ 応募に必要な経費は、応募者の負担とする。

イ 提出先及び提出期限

(ア) 提出先 〒260-0028

千葉県千葉市中央区新町 18 番地 10

千葉第一生命ビルディング 8 階

一般社団法人 千葉県私立中学高等学校協会

私立高等学校生徒奨学金運営委員会

(イ) 提出期限 令和 2 年 4 月 2 1 日（火曜日）必着

(2) 書面審査

ア 応募資格及び企画提案書の内容について書面審査を行い、受託候補者を決定する。

イ 書面審査の結果は、令和 2 年 4 月下旬に通知する。

(3) 書面審査の評価基準

項目	評価基準
業務実施の考え方	公金の債権回収であることを踏まえ、公平性の確保や債権者の生活に配慮して取り組むことができるか
業務処理方法	効果的かつ適確な手法により債権回収することができるか。また、トラブル発生時の対応を適確に行えるか。
業務実施体制	千葉県及び全国の債権回収を適法かつ確実に実施できる体制が確保されているか。
職員の専門性	職員の知識・経験は豊富か。また、職員の資質向上のための取り組みを実施しているか。
経済性	効率的な業務運営により、成功報酬を抑えることができるか。
業務受託実績	過去に国や地方公共団体等から受託実績があり、円滑な処理が期待できるか。

6 契約に関する事項

別添「千葉私立高等学校学校生徒奨学金返還金に係る収納業務委託仕様書

1 1 契約に関する事項」のとおり

7 問合せ先

〒260-0028 千葉県千葉市中央区新町1 8-1 0

一般社団法人 千葉県私立中学高等学校協会

私立高等学校生徒奨学金運営委員会

電話：043-245-7651

E-mail: chiba.shigaku@nifty.com